

佐久地域における 有機農業者の経営実態調査

佐久農業農村支援センター
地域第一係 和田慎太郎

課題設定の背景と目的

表 1 佐久地域の有機農業者の状況

生産者数	93名
合計面積	178ha
有機農業希望者数	20名前後/年
経営不安定者数 (栽培面積60a以下)	36名

佐久地域における有機農業者台帳より

聞き取り対象者

- 品目を絞った4経営体 (R3年度)
- 多品目栽培の4経営体 (R4年度)



聞き取り項目

- ①就農までの準備
- ②就農から5年目までの経営状況
- ③就農当時の問題点

上記について細かく聞き取りを行い、
実践者の共通点を確認

多品目での問題点

- 初期投資が想定よりかかる
- 排水性、日照条件の良い農地を確保
- 除草、害虫対策、肥培管理等に労力がかかる
- 1つのミスで他の作業に影響
- 作付け計画が煩雑になる
- 端境期でも最低10品目を確保
- 出荷の経費
- 顧客の確保
- 顧客の維持

B氏の就農までの経過

- 都内でコックとして働いていた
- 有機野菜に魅力を感じた
- 東日本大震災で農業の重要性に気付く
- 佐久管内の里親の下で研修を受ける。
- 就農準備資金は約500万円。

栽培面での工夫

- トラクターは地権者から数年借りた！
- 空きハウスを譲り受ける！
- 研修中に近隣農家から借りられる算段！
- 初年目から雇用、バランスよく作業！
- 顧客と密に連絡をとり、ミス発生時の代替案！
- 現在合計200品目栽培、計画をたて畑を回す！

顧客管理

- シーズン常に30品目を用意！
- 初年度は約200万円の送料！
- 都内で働いていた時のコック仲間200人！
- 常に栽培状況をSNS等で発信！
- 栽培品目が多いため新たな商品紹介！

表2 B氏（多品目栽培）の聞き取り調査結果

	規模 (a)	売上 (万円)	品目数	雇用 (人)
目標	60	250	—	—
初年度	100	450	120	1
経営安定年 就農6年目	200	1,500	150	2
現状	200	1,450	200	2

結果 多品目での経営のポイント

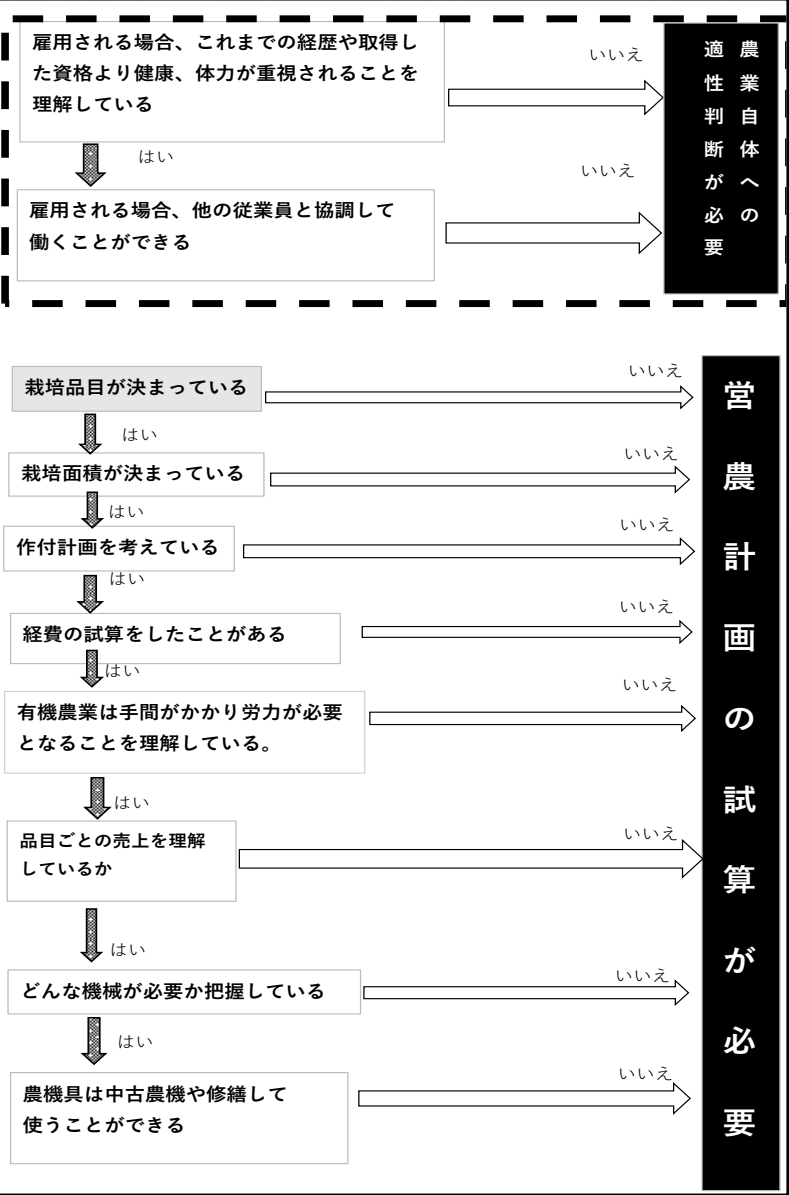
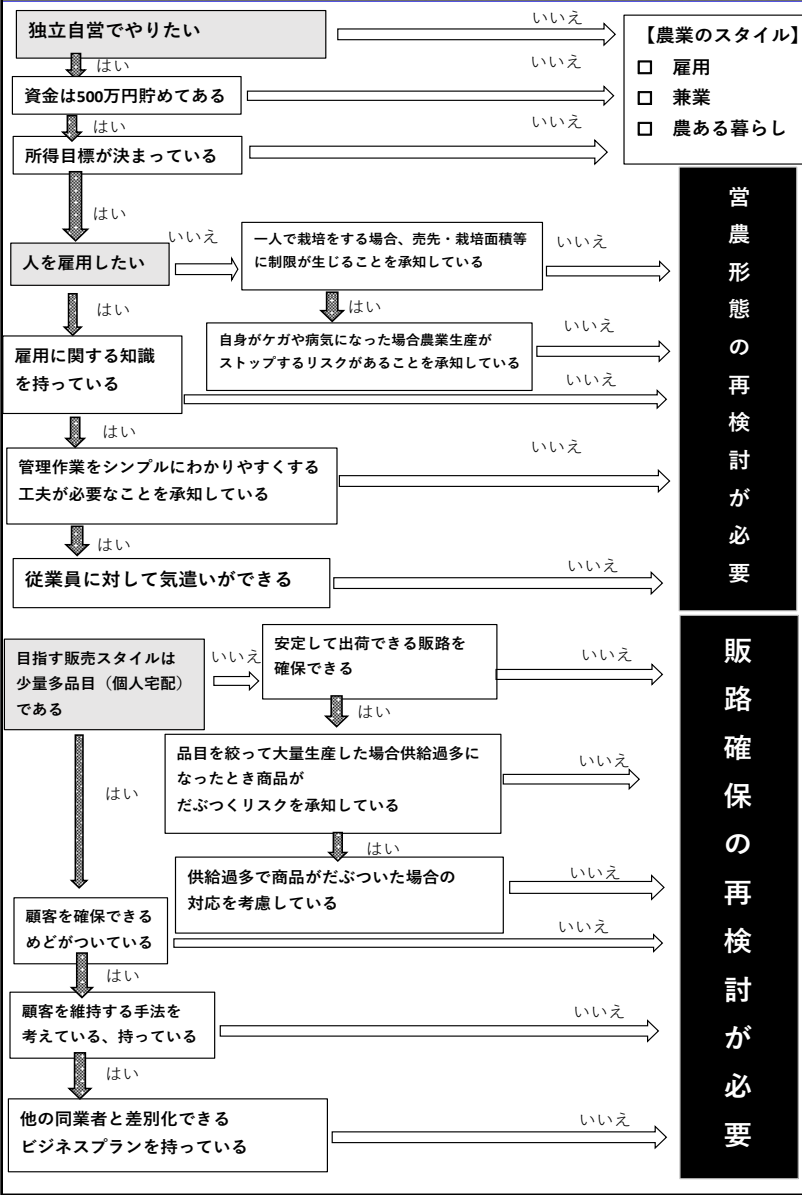
項目	ポイント
顧客維持	飽きさせない！（品目の充実 SNS等での情報発信）
労働力	手間が多く雇用必須！（栽培, パッキング, 発送等）
営業	野菜の年間発売表の活用！（新たな販売先）
売上	500万円/人で経営安定！100万円/10a！

考察 有機農業で就農のポイント

項目	ポイント
準備段階	家族の理解！就農資金！営農計画！初期投資！
所得目標	就農前に所得目標！（目標達成のために努力）
労働力	家族以外の雇用が必要！
販路	就農前に販路の確保！（売り先に困らない）
顧客維持	高単価で販売！（ファンを増やす）

考察 有機農業で就農のポイント

項目	ポイント
準備段階	有機農業者の元での体験や研修！
投資	初期投資を抑える！
生活資金	500万円
売上目標	50万円/10a、多品目では100万円/10aの売上！
将来目標	経営体で500万円/人！





ご清聴ありがとうございました